



笑顔と輝きに満ちた谷原中

谷原中だより

練馬区立谷原中学校

校長 中嶋 雅彦

平成 28 年 12 月 22 日

第 8 号

小中 9 年間を見通した教育

校長 中嶋 雅彦

第 2 回谷原中学校区別協議会が 11 月 29 日(火)に行われました。谷原小学校、北原小学校、谷原中学校の 3 校で小中一貫教育の実践が進められています。その検証授業を、この協議会で行いました。谷原小学校では、算数・数学分科会が小学校 3 年生の「分数」の授業を行い、体力向上分科会が小学校 1 年生の「ボールを使った運動」を行いました。また、谷原中学校では、心の教育分科会が中学校 1 年生の道徳「ロレンゾの友達」を行いました。3 校の教員が、それぞれ分科会に、また、小中学校に分かれて、現在行われている小中一貫教育を見直し、深めました。小学校の教育力、中学校の教育力をそれぞれ活用しながら、この地域に住む子どもたちの能力を伸ばしていこうという取り組みです。

私は、谷原小学校で、小学校 3 年生の「分数」の授業を参観しました。3 年生の算数は、少人数クラスに分かれ、仲良く授業をしていました。以下の 3 点は、算数・数学分科会でのカリキュラム改善の視点です。

- ・数の感覚を豊かにするために、数の大きさについて絵や図を用いて視覚的に捉えさせる。
- ・正負の数などの言葉ではイメージしにくい算数・数学の概念について絵や図を用いて視覚的に捉えさせる。
- ・計算方法などの仕組みについて図を用いて視覚的に捉えさせる。

担当の先生は、このカリキュラム改善の視点を踏まえ、分数の概念を、図を用いて、視覚的に子どもたちに印象づけ、とてもわかりやすい授業を行っていました。算数・数学は積み重ねの授業であるといわれています。小学校の先生が、子どもの中学校までを見据えて授業を丁寧に教えてくれることは、その子にとってはもちろんですが、中学校の教育をより効果的にしてくれます。分数は、小学校のみならず、中学校でも子どもたちのつまずきの一つとなっています。分数をわかりにくくする要素として、

- ・ひとつの分数にいくつもの意味、解釈がつけられること
- ・ひとつの分数をいろいろな形でかけること
- ・小数になおすと、循環小数という無限小数になること などがあげられます。

このことを、小中学校で共通認識し、小学校での授業展開のすばらしさと中学校での教科の専門性を生かして、よりわかりやすい授業を工夫して改善をします。教員の研修が、子どもたちのよりよい教育へとつながるように、今後も小中学校が協力をしていきます。

今年も、12 月を迎え、1 年が終わろうとしています。新しい年を迎えるにあたり、子どもたちが大きな夢と希望をもち、自らの能力を高められるように、これからも関連小学校、家庭、地域との連携を深め、教育の推進を行っていきます。新年もよろしくお願ひ致します。

ボランティア・マインド講演会 12/1 (木) 6校時

本校は今年度、オリンピック・パラリンピック教育「ボランティア・マインドの醸成」重点校として、「思いやりの心」について考える機会を設定しています。

今回は、練馬区保護司会のご協力のもとで保護司の堂山愛生（どうやまよしお）様によるご講演がありました。無給制の国家公務員としての立場で受刑者との接触や、社会を明るくさせるための活動を行う原動力とは何かなどのお話がありました。「人は徳を積み重ねて立つ」「お金ではない、経験値の貯金」「魂を磨く」「自分のできることをすればいい」「人が喜べば自分も嬉しい」などボランティアの心の基盤となる様々な考え方が提示されました。



谷原音楽祭 12/4 (日)

青少年育成谷原地区委員会の主催による音楽祭が南が丘中学校で行われました。本校からも吹奏楽部と合唱団が参加しました。年々大きくなる規模に比例して実力を備えていく吹奏楽部と限られた時間の中で練習をして臨む合唱団の生徒たちが全力でその成果を披露しました。

落ち葉掃き

本校の敷地内には「谷原の杜」と呼ばれる雑木林があります。四季を通して自然が織りなす様々な表情を見せてくれます。しかし、冬の降り積もる落ち葉の量は相当なものです。そこで、この時季は各学級が交替で朝の落ち葉集めを行っています。普段より少し早い時間に登校して働きました。でも、集めている最中に空から次々と枯葉が降ってきます。そんな中でも「やっても仕方ない」と諦めの言葉一つ漏らさずに、みんなで一生懸命に取り組みました。



クリーン運動 12/10 (土) 10:30

土曜授業の後に全校生徒による地域清掃（クリーン運動）を行いました。多くの保護者のみなさんにご参加をいただき、清掃活動を行う中で、環境美化や奉仕の心について気付く機会となっていたらこの行事は成功です。



学校関係者評価

多くの皆様のご協力、ありがとうございました。校内外からの評価や意見を今後の谷原中の教育活動に生かせるように受けとめて参ります。現在集計が済み、その分析考察に取りかかるところです。その対応策等については、後ほど地域・保護者の皆様へお知らせ致します。



医療救護所訓練 12/11 (土)

練馬区内の小中学校は、震災時に避難拠点となります。同時に谷原中は、医療救護所としての役割も担います。避難所の運営は、区役所からの要員の方や学校の職員も関わりますが、やはり地元のみなさんが中心となります。



午前中の冷え込みの厳しい中で、本校の生徒も多く参加して、寒さに負けずにまさに頑張っていました。

本番と呼べる時が来ないのが一番いいのですが、もしもの時には、立派な働き手として期待します。



避難拠点連絡会 12/20 (火)

その避難拠点は、まだまだ発展途上です。2ヶ月に1回、第3週の火曜日に本校会議室で連絡会が行われています。今の最重要課題は、地元の運営委員（活動に携わるスタッフ）の数が絶対的に不足しているという

点です。避難拠点スタッフは、まず自分の身と家族と家の安全を第一優先に考え、ゆとりができたなら避難所へ活動に向かうということが大原則です。多くの地元のみなさん、ご協力ください。

1月の主な予定

- 10 (火) 始業式
- 12 (木) ユニセフ講演会
- 14 (土) 土曜授業
区生徒作品展~18
- 19 (木) 百人一首大会
<1年・F組>
- 26 (木) 百人一首大会
<2年>
都立推薦入試~27
- 28 (土) 区連合書写展~29